

R 8 ティーaching・ポートフォリオ

山村学園短期大学 子ども学科

教授 伊藤えつ子

1 教育の責任

令和8年度の担当科目

科目名	学期	対象学年	種別	受講者数	備考
キャリアアップ セミナーⅢ	前期	2年	演習	22名	2組
保育内容健康	前期	1年	演習	46名	1・2組
幼児体育	前期	1年	演習	46名	1・2組
保育内容表現の 指導法	前期	2年	演習	45名	1・2組
キャリアアップ セミナーⅣ	後期	1年	演習	22名	2組
子ども学ゼミナ ールⅡ	後期	2年	演習	未定	1・2組
保育内容健康の 指導法	後期	1年	演習	46名	1・2組
保育内容表現	後期	1年	演習	46名	1・2組
子ども文化演習 B	後期	2年	演習	46名	1・2組
ダンスムーブメ ント	後期	1・2年	演習	未定	1・2組

○授業の充実

【知識・技能】

主に教科書を使用して、重要個所をわかりやすく説明する。

見やすくわかりやすい資料を作成する。

提出用課題による知識の定着を図る。

技能が定着するよう繰り返し行える授業にする。

【思考・判断・表現】

獲得した知識・技能を総合的に活用し、アクティブラーニング、グループワーク、プレゼンテーションに取り組む。

グループ活動では、自ら考え意見を発表し、他者の意見を尊重し、そこから学ぶ授業にする。

提出用課題に自己の考えや他者の意見を判断して記入し、記録から振り返れるようにする。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

自分から学びを深めようとしているかを見て取り、促す。

他者とともに学ぼうとしているかを見て取り、促す。

獲得した基本的な生活習慣をより洗練されたものにして社会人として活躍できるよう意識を高める。

○研究活動の推進

- ・ 幼児の体力・運動能力の現状把握と対策
- ・ 学生の身体表現力の向上に向けた文献研究

○地域貢献活動

- ・ 川島町総合型スポーツクラブ主催「ダンス教室」
- ・ 教育公務員弘済会教育振興事業選考委員

2 教育の理念

建学の精神（質実・英知・愛敬）に基づき、保育士として必要な知識と技能を確実に身に付ける。また、現場に出たときに自ら考えて行動し判断し適切な表現方法を使って表現できるようにする。さらに、同僚や保護者、地域の方々と適切なコミュニケーションをとり、連携して質の高い保育を提供できるよう資質の向上を図る。

そこで、学生一人一人をよく見て、つまずきや悩みに寄り添い、適時適切な支援により問題解決を図り、資質向上につなげる。

3 教育の方法

- 効果的な資料提示を行う。
- アクティブラーニングを取り入れる。
- 予習、復習の指示を明確にする。
- 提出課題を速やかに返却し、思考・判断の機会を増やす。

（1）キャリアアップセミナーⅢ

【ねらい】

1人ひとりに興味関心、進路に即したキャリアアップテーマや学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け、保育者としての自覚を高めキャリアアップを図る。

【到達目標】

- ① 保育者に必要とされる知識・技術、マナーを定着させる。共感性や協働性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。
- ② 保育者・社会人として必要とされる態度、マナー、対人関係コミュニケーション力等の資質・能力の向上を図る。

（2）保育内容健康

【ねらい】

領域「健康」の指導の基盤となる、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うための専門的事項について、知識・技能を身に付けることができる。

【到達目標】

- ① 乳幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。

②乳幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。

③安全な生活と怪我や病気の予防を理解する。

④乳幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。

(3) 幼児体育

【ねらい】

乳幼児の運動あそびや身体表現についての専門的知識・技能を身につける。また、保育者は人的環境となることを意識し、自身の身体性・表現力・コミュニケーション能力を向上させる。

【到達目標】

①運動あそび・身体表現の意義について説明することができる。

②対象に合わせた指導や援助について考え実践できる。

③安全管理等について適切な配慮ができる。

④積極的に身体を動かし身体性を向上させる。

⑤積極的に他者と関わり表現力・コミュニケーション能力を向上させる。

(4) 保育内容表現の指導法

【ねらい】

乳幼児の運動あそびや身体表現についての専門的知識・技能を身につける。また、保育者は人的環境となることを意識し、自身の身体性・表現力・コミュニケーション能力を向上させる。

【到達目標】

①運動あそび・身体表現の意義について説明することができる。

②対象に合わせた指導や援助について考え実践できる。

③安全管理等について適切な配慮ができる。

④積極的に身体を動かし身体性を向上させる。

⑤積極的に他者と関わり表現力・コミュニケーション能力を向上させる。

(5) キャリアアップセミナーⅣ

【ねらい】

一人ひとりに興味関心、進路に即したキャリアアップテーマや学習を通して、保育者としての必要な専門的知識・技術を身に付け保育者としての自覚を高め、キャリアアップを図ります。

【到達目標】

保育者に必要とされる知識・技術、マナーを定着させる。共感性や協調性などを対人関係の適切な場面で発揮できる。

保育者・社会人として必要とされる態度、マナー、対人関係コミュニケーション力等の資質・能力の向上を図ることができる。

(6) 子ども学ゼミナールⅡ

【ねらい】

クラスやゼミナールでの活動を通して、保育の専門的知識や技能、多様な教養を学習し、現代社会を取り巻く現状を捉える力を養います。さらに、自らが職業人として必要な課題を見出し、分析や考察したことを他者へ表現する方法を学びます。その上で、主体性を持って多様な人々との関わる態度を養い、また他者を受容する姿勢を身につける。

【到達目標】

①クラスやゼミナールでの活動へ主体的に取り組み、得たい知識や技能を自発的に獲得できる。

②職業に対する求められる態度、マナー、コミュニケーションを理解し、自分事として行動に示せる。

③行事他、多様な体験や様々な他者との関わりを主体的に受け止め、肯定的、建設的に物事を捉え、体験や関わりを価値あるものにしようとする。

(7) 保育内容健康の指導法

【ねらい】

領域「健康」における指導法の実践を学び、自らの保育実践への具体的な計画、実践、評価を専門的に構想する力を身に付ける。

【到達目標】

①幼児教育および乳児保育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらいおよび内容を理解し、概説できる。

②乳幼児期の発達や学びの過程を理解し、「健康」にかかわる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけることができる。

③健康に関する素材や教材についての特性を理解し、主体的に活用することができる。

④模擬保育を通し、健康の指導法について実践的に理解することができる。

(8) 保育内容表現

【ねらい】

乳幼児の生活や遊びの中にある表現やその意義について理解する。また表現全般について広く体験的に学びながら自身の感性を磨くことによって、乳幼児の感性や創造性を引き出す構想力、知識、技能、表現力を身につける。

【到達目標】

①領域「表現」の概要を理解する。

②乳幼児の心性を理解し表現を受容的に受け止める視点を身につける。

③自身の感性や表現力を磨く。

④他者とのコミュニケーションとして表現を楽しむことができる。

⑤基礎的な表現技術や身近な素材を生かした表現活動を構想することができる。

(9) 子ども文化演習 B

【ねらい】

子どもたちが鑑賞する事を目的とした作品の創作・実演を通して、表現についての具体的な知識・技能・身体知を身につけること、体験過程を通して自身の思考力、判断力、表現力、主体性、協働性、創造性、コミュニケーション能力等の実態に気づき、それらの能力を活かしたり向上させることをねらいとする。

【到達目標】

①子どもの感性や総合的な表現の意義を理解する。

②自身の表現力・表現技術を身につける。

③演出法・制作技術・各種効果等について具体的な方法を身につける。

④仲間との協働の重要性を理解し粘り強く取り組むことができる。

⑤具体的な役割や計画のもとにプロジェクトを遂行できる。

(10) ダンスムーブメント

【ねらい】

ダンスに関する知識・専門的な技術・表現方法を学び、身体性と表現力を向上させ保育者としての資質を高めることをねらいとする。

【到達目標】

- ①身体表現や音楽等についての文化的教養を身につける。
- ②自身の表現経験を積み重ね、子どもたちとの表現活動に対する身体知・応用力を身につける。
- ③身体性と表現力、コミュニケーション力を向上させる。

4 教育の成果、評価

令和7年度後期定期試験前に学生に対して授業アンケート（E d u N a v i）を実施。

問1 ・欠席または遅刻・早退をせずに受けたか。

- ・私語を慎んで授業を受けましたか。
- ・授業の要点を配布プリント等にとっていましたか。
- ・シラバスは授業内容や評価の基準等を知る上で役に立ちましたか。
- ・予習・復習及び技術向上のための努力をして授業に臨んでいましたか。

問2 ・授業内容は、シラバスに示されていた学習目標と合致していましたか。

- ・授業内容のレベルは適切でしたか。
- ・授業の進度（速さ）は適切でしたか。
- ・この授業を通じて知識が深まった、能力が高まったと感じますか。

問3 ・教員の話し方は明瞭で聞き取りやすかったですか。

- ・授業の説明の仕方はわかりやすいものでしたか。
- ・授業中の板書やプロジェクター（パワーポイント等）の利用は適切でしたか。
- ・教材や資料はよく準備され、うまく活用されていましたか。
- ・教員は学生の質問に適切に対応し回答していましたか。
- ・学生の理解を深めよう、能力を高めようとする工夫や努力が感じられましたか。

問4 ・全体的に見て、この授業に対するあなたの評価はどの程度ですか。

問5 ・授業の感想を自由に述べてください。

(1) 子ども学演習Ⅱ

5.0満点

問1 平均 4.5

問2 平均 4.4

問3 平均 4.5

問4 平均 4.4

【よい点】

- ・SBDの振り返りを通して、計画的に行動する力が身についた。
- ・パラスポーツの体験授業を通して、フェアプレイやスポーツについて学びを深めることができた。

- ・山緑祭の準備を楽しく行い、保育に関する理解を深めることができた。

【改善してほしい、要望】

- ・授業で何を学んだのか分かりにくいことがあった。
- ・ナチュラル保育検定の学習時間を増やし、手遊びの難易度を調整してほしい。
- ・山緑祭の準備時間を、より早い時期から確保してほしい。

(2) キャリアアップセミナーⅡ

5.0満点

問1 平均 4.5

問2 平均 4.5

問3 平均 4.5

問4 平均 4.5

【よい点】

- ・外部講師や現場の方の話を聞き、新しい知識や考え方を得ることができた。
- ・あいサポーターの授業では、スマートフォンを実際に操作し、視覚障害者の電子機器利用を体験的に学べた。
- ・認知症サポーター講座など、今後に活用できる知識を学ぶことができた。

【改善してほしい、要望】

- ・授業全体を振り返ったとき、何を学んだのか思い出しにくいという意見があった。
- ・山緑祭の準備時間を、もう少し確保してほしい。

(3) 子ども学ゼミナールⅡ

5.0満点

問1 平均 4.7

問2 平均 4.6

問3 平均 4.7

問4 平均 4.7

【よい点】

- ・教員の説明が分かりやすかった。
- ・自分の興味のあることを研究できた。
- ・跳び箱ができるようになるなど、実際に技能の向上を実感できた。

【改善してほしい、要望】

- ・「環境を使った体力向上」など、自分がやりたいテーマを一人でもさらに追究してみたかったという意見があった。

(4) 保育内容健康の指導法

5.0満点

問1 平均 4.5

問2 平均 4.3

問3 平均 4.2

問4 平均 4.1

【よい点】

- ・指導案をもとに実際に模擬保育を行う実践的な経験ができた。
- ・指導案作成を通して、ねらいと内容、環境構成、保育者の動きや導入などについて学ぶことができた。
- ・グループワークを通して、他の学生の考えやアイデアを知り、新たな気づきを得ることができた。

【改善してほしい、要望】

- ・課題や指導案作成、発表について、何をするのか、何を準備するのかをより具体的に説明してほしい。
- ・模擬保育の時間や人数などの条件を、指導案作成の段階で明確に提示してほしい。
- ・授業の進度や発表時間を見直し、指導案作成や打合せの時間を十分に確保してほしい。

(5) 保育内容表現

5.0満点

問1 平均 4.6

問2 平均 4.6

問3 平均 4.6

問4 平均 4.5

【よい点】

- ・身体、造形、音楽の三つの分野を体験し、多様な表現方法や自分の得意な表現に気づくことができた。
- ・個性を発揮し、イメージを共有する表現について楽しみながら学ぶことができた。
- ・グループで協力して作品を作り上げる楽しさや達成感を味わうことができた。

【改善してほしい、要望】

- ・身体表現について、活動の目的をより明確に説明してほしい。
- ・グループで創作・練習する時間、発表の準備時間をもっと確保してほしい。
- ・身体表現では、学生が取り組みやすい音楽や活動方法も工夫してほしい。

(6) 子ども文化演習 B

5.0満点

問1 平均 4.4

問2 平均 4.3

問3 平均 4.2

問4 平均 4.2

【よい点】

- ・ヨーフラをやり遂げ、達成感を得ることができた。
- ・仲間と協力して活動することで、チームワークを高めることができた。
- ・好きな分野や役割を選び、普段あまり関わらない学生とも協力して楽しく活動することができた。

【改善してほしい、要望】

- ・準備期間・準備時間をもっと確保してほしい。
- ・一部の学生に仕事が偏らないよう、役割分担を工夫してほしい。

- ・2年生だけでは人数が不足するため、1年生の参加も検討してほしい。

(7) ダンスムーブメント

5.0満点

問1 平均 5.0

問2 平均 5.0

問3 平均 5.0

問4 平均 5.0

【よい点】

- ・楽しく授業に取り組むことができた。
- ・十分に身体を動かすことができた。
- ・即興創作ダンスを繰り返すことで、身体の使い方や音楽の雰囲気に合わせて動きを意識するようになり、最終的な創作ダンスに生かすことができた。

【改善してほしい、要望】

- ・自由記述には明確な改善要望はなかった。

5 教育の改善に向けた今後の目標

(1) 子ども学演習Ⅱ

短期的目標	○各活動のねらいと身につける力を授業の初めと終わりに明確に示し、学生が学びを振り返る時間を確保する。 ○ナチュラル保育検定や山緑祭など、準備を必要とする活動については、早期に予定を提示し十分な練習・準備時間を確保する。
長期的目標	○体験活動や行事を単なる経験で終わらせず、学生がそこで身につけた知識・技能、協働性、計画性等を自覚し、保育者としての成長につなげられる授業構成にする。

(2) キャリアアップセミナーⅡ

短期的目標	○外部講師による講義や体験活動の後に振り返りを行い、「何を学んだか」「今後どのように活用するか」を言語化する時間を設ける。 ○行事等の準備を計画的に進められるよう、早期に予定と役割を提示する。
長期的目標	○多様な講師や現場から得た知識・経験を、学生自身の進路や保育者としてのキャリア形成と結び付けて考えられる授業にする。

(3) 子ども学ゼミナールⅡ

短期的目標	○学生個々の興味・関心をより丁寧に把握し、自ら選んだテーマを十分に追究できる時間と活動方法を確保する。
長期的目標	○学生が自分で課題を見つけ、計画・実践・振り返りを行い、研究や実技を通して自らの成長を実感できるゼミ活動にする。

(4) 保育内容健康の指導法

短期的目標	○指導案作成や模擬保育について、目的、手順、役割、時間、人数等の条件を事前に文書等で明確に提示する。 ○指導案の基本的な書き方を十分に説明してから作成に入り、準備・打合せ・修正の時間を確保する。 ○発表後の助言では、よい点を明確に評価した上で改善点を具体的に示し、次の実践への意欲につながるようにする。
長期的目標	○領域「健康」の知識を指導案作成、模擬保育、振り返りへ段階的につなぎ、学生が見通しをもって保育を構想・実践・改善できる授業にする。

(5) 保育内容表現

短期的目標	○各ワークショップの目的や、活動によって身につける力を授業の初めに明確に伝える。 ○創作・グループ活動では、考える時間、練習する時間、発表する時間を十分に確保する。 ○身体表現では、学生の経験や得意不得意にも配慮し、取り組みやすい音楽や課題から段階的に活動を進める。
長期的目標	○音楽・造形・身体各表現を関連付けながら、学生が自ら表現を選び、仲間と協働して創造する力を高められる授業にする。

(6) 子ども文化演習 B

短期的目標	○活動計画を早期に示し、十分な準備期間を確保するとともに、役割と仕事を可視化して偏りがないよう調整する。 ○材料や予算について事前に確認し、必要な物品を計画的に準備する。
長期的目標	○企画、役割分担、制作、実演、振り返りまでを学生主体で計画的に遂行し、協働性・創造性・責任感を育てるプロジェクト型の授業として充実させる。

(7) ダンスムーブメント

短期的目標	○評価の高かった即興的な身体表現や創作活動を継続し、身体の使い方、音楽と動きの関係をさらに意識できるよう指導する。
長期的目標	○即興から創作へと段階的に学ぶ過程をさらに整理し、学生が自ら動きを発見・選択・構成し、保育現場での身体表現活動にも応用できる力を育てる。

6 その他

エビデンス（保育内容健康、ディスカッション用資料）

保育内容健康⑫グループワークメモ (R. 7. 15)

- 1 班名 A, B, C, D, E, F, G, H
- 2 テーマ 子どもの健康づくりに欠かせない視点である運動、発達、安全、連携の4つについて、①なぜ重要なのか、②保育者にできることは何か、③具体例を1つ上げる、④必要に応じて他職種・家庭・地域との連携を考え、話し合い、発表する。

- ### 3 役割分担

運動 1	運動 2	発達 1	発達 2	安全 1	安全 2	連携 1	連携 2
①発表（ ）							
②想定質問・回答（回答担当）（ ）							
③他班への質問（質問担当）（ ）							
④ディスカッション発言（ ）							
⑤グループワーク記録（ ）							
⑥計時（ ）							

- 4 発表用読み原稿

--

- ## 5 想定質問と回答

- ## 6 他班への質問

--

- 7ディスカッション（司会者からの質問に対する回答、他班への質問や意見等）

--

学籍番号	クラス	氏名
------	-----	----

1 本日の予定

1 テーマ決定	1分	前の回
2 役割分担を決める	2分	
(3 テーマについて自分で調べる	5分)	
4 グループで発表内容を考える	10分	授業前に予習してくる
(読み原稿作ってもよいー①なぜ重要か、②保育者にできることは何か、③具体例1つ、④必要に応じて他職種・家庭・地域との連携も考える)		
5 想定質問を1～2考え回答も併せて考える	5分	
6 発表 班員全員が前に 発表順に3分	3分×8	
7 他班への質問	1分×8	
8 ディスカッション	20分	
9 まとめ(プリント記入)	10分	

2 役割分担

①発表(読み原作成)()
②想定質問・回答(回答担当)
③他班への質問(質問担当)()
④ディスカッション発言()
⑤グループワーク記録()
⑥計時

3 順番

	運動1	運動2	発達1	発達2	安全1	安全2	連携1	連携2
班名	()	()	()	()	()	()	()	()
発表	1	2	3	4	5	6	7	8
計時	7	8	1	2	3	4	5	6
質問	3	4	5	6	7	8	1	2

4 自分のテーマ、他班のテーマを調べる(特に質問する班について)

運動

発達

安全

連携

5 他班発表の際のメモ

6 ディスカッション用メモ（自分か言えそうなことをまとめる）

7 今日の学び

8 参考

教科書、文部科学省 HP、 子ども家庭庁 HP、 厚生労働省 HP、 小児保健協会、農林水産省、 健康日本21、幼児期運動指針、その他 AI など

学籍番号	クラス	学年
------	-----	----

① 本日の予定

1 ユーザー決定	1分	新入組
2 機内分組を決定	2分	
3 ユーザーについて自分で調べる	5分	
4 グループの発表内容について	10分	
(講師が発表してもよい)①各グループ、②発表者によることは何れ、③発表者1つ、④発表者2つに⑤発表者、⑥発表者の数値も考慮する		
5 発表時間1→2分と発表も併せて考える	5分	
6 発表 発表者各々が、発表者に3分	3分×6	
7 発表への質問	1分×6	
8 ディスカッション	20分	
9 まとめ (ブリンクと記入)	10分	

2. 投資分類

①巻頭 (読者募集)	14	1
②巻頭文庫・国語 (国語教育)	25	1
③巻頭への質問 (質問紙)	26	1
④フィクション・随筆	33	5
⑤ゲームワーク記録	75	1
⑥巻末 (ふりかへ)		

◎ 333

	運動1	運動2	所通1	所通2	安全1	安全2	講義1	講義2
姓名	(B)	(C)	(G)	(E)	(B)	(H)	(F)	(A)
朝長	1	2	3	4	5	6	7	8
針村	7	8	1	2	3	4	5	6
高田	3	4	5	6	7	8	1	2

4. 自分のテーマ、他者のテーマを調べる（特に質問する場について）

[illegible]

1. 個人差を理解し、1人1人に合わせた援助
 2. 専門職・地域との連携と協力関係の構築
 3. 言語聴覚士(57)の役割
 4. 保護者と子どもの関係の改善と支援

① 計画の外面びり、それで目を醒まし、長所手帳に書く
 ② 予定の、都合の、手帳に
 ③ 正しい理解を教養し、読者と読む（どうやうに読むかは出る）
 → ④ 知見におおむ、その量を説明
 ⑤ 読者の専門分野との連携
 ⑥ 読者の成長をいかに促すか
 → 情報と共有する、直接対面、電話、FAX、連絡帳
 (メールなど)
 ⑦ 読者調査の後のメモ
 「1人1人に対して対応をしよう」と大切。
 → 全員の別にも直したい

6. ディスカッション用メモ（自分の言えそうなことをまとめる）

- ADHD 12歳以下の基礎と音読は12歳、困難に直面した時に
- 読解文和音読直 12歳から12歳、問題15歳と12歳から12歳
- 基本的生活習慣 国語の読解、理解、病院、授業
- 家庭、学校、社会 (12歳) 12歳から12歳、12歳から12歳
- 読解、音読 12歳から12歳、12歳から12歳

7 今日の学び

[illegible]

林 豐喜

教科書、文部科学省 HP、子ども家庭庁 HP、厚生労働省 HP、小児保健協会、農林水産省、健康日本21、幼児期運動指針、その他 誌 など